

『②探究活動（成果物）の概要説明書 作成の手引き』

この資料は『② 探究活動（成果物）の概要説明書』（Excel データ）（以下、概要説明書という）を作成するための手引きです。内容をよく読み、入力漏れがないよう、丁寧に作成してください。なお、『② 探究活動（成果物）の概要説明書』は、以下 A～C の探究活動タイプにより書式が異なります。ご自身の取り組んできた探究活動タイプに該当するものを確認し、必要な『② 探究活動（成果物）の概要説明書』を作成してください。

<探究活動のタイプ> ※探究活動タイプの選択が評価に影響することはありません。

探究活動タイプ “A”

→実験や質問紙調査等により新たなデータ収集を重視し、知見を明らかにしようとした探究活動 … 例 P.5
※開発・作成関連（アプリの開発・教材の作成等）の探究活動も含む

探究活動タイプ “B”

→他者との交流や協働（例えば海外の学校等）を重視した実践活動等の探究活動 … 例 P.5

探究活動タイプ “C”

→特定のテーマに関する学術的考察を重視した探究活動 … 例 P.5

<作成手順>

Step1. 自分の探究活動が上記<探究活動のタイプ>のどれに該当するか確認する

Step2. 自分の探究活動タイプにあった『② 探究活動（成果物）の概要説明書』（Excel データ）をダウンロードする

Step3. 『概要説明書 作成の手引き』（本資料）をよく読み、下記<各入力項目についての注意事項>に従って、
『② 探究活動（成果物）の概要説明書』を作成する

Step4. 完成した『② 探究活動（成果物）の概要説明書』を A4 サイズ・片面で印刷し、他の提出物と一緒に提出する

<各入力項目についての注意事項>

- ★ 日本語で作成してください。
- ★ 探究活動タイプの選択が評価に影響することはありませんので、ご自身の探究活動に最も近いタイプを選択してください。
- ★ 黄色の入力項目（入力後、自動で白色に変わります）：入力必須項目
白色の入力項目：入力の必要がある方のみ入力
- ★ Excel データは、文字フォントやサイズ、体裁、印刷向き、ページ数などを変更しないでください。また、拡大や縮小もしないでください。なお、文字が切れている場合、フォント種類・サイズが基本設定のものとは明らかに異なる場合は、再提出や評価の対象とならないことがあります。提出前に必ず印刷したうえで確認してください。※変更されている場合、再提出となります。
- ★ 文字数の制限がある項目は、枠外右下に文字数カウントがありますので確認してください。半角・スペースも 1 文字としてカウントします。文字数カウントが制限を超えている場合は、公平性の観点から評価の対象としません。
- ★ いかなる場合も手書きでの提出は認めません。

1. 探究活動の成果物

『① 探究活動の成果物』で提出する成果物について入力してください。

○種類 入力必須項目

- ・論文（学術機関等が発行する論文集に掲載されたもの）
- ・論文（高等学校等が発行する論文集に掲載されたもの）
- ・発表記録（ポスター・パワーポイント等）
- ・実験成果

・その他

以上の中からご自身の成果物の種類を選択してください。

「その他」を選択した場合は、具体的に入力してください。

○成果物が掲載された媒体

論文集、雑誌、インターネットなど、掲載された媒体等がある場合は、入力してください。なお、入力の際は、詳細な情報（媒体名、発行年、巻・号、掲載ページ、URL 等含む）を入力してください。加えて、成果物が掲載されたことがわかる証拠資料(タイトル・目次・当該ページのコピー等)を提出してください。

2. 探究活動を行った主たる時間

○区分 **入力必須項目**

総合的な探究の時間・古典探究・地理探究・日本史探究・世界史探究・理数探究・理数探究基礎・正課外活動（部活動等 ※学校外の活動は不可）・その他（学校設定科目等）から選択してください。「正課外活動」・「その他」を選択した場合は、具体的に入力したうえで活動期間（西暦）も入力してください。

○主たる指導者とその属性 **入力必須項目**

当該探究活動での主たる指導者を、在籍する学校の授業を担当する教員・在籍する学校の教員・学校外の専門家・その他から選択してください。「その他」を選択した場合は、具体的（氏名・所属・専門性・経験値等）に入力してください。

3. 探究活動の人数構成

○人数構成 **入力必須項目**

グループ・個人から選択してください。「グループ」を選択した場合は、構成人数も入力してください。

4. 発表の機会・結果

それぞれの発表会区分（所属校内での発表会、他校との合同発表会、外部機関が主催する大会やコンテスト）について入力してください。参加していない発表会区分は、「参加有無」で「不参加」を選択してください。それぞれの発表会区分に複数参加している場合は、最も結果の良かったものを選んでその内容を入力してください。なお、この項目では発表会や大会、コンテストの名称は必要ありません。

また、提出書類「④発表の記録」と記載内容を合わせてください。

○参加有無 **入力必須項目**

所属するグループではなく、ご自身が参加したもののみ「参加」を選択してください。参加していないものには「不参加」を選択してください。

（例）A グループに所属しており、A グループとしては「外部機関が主催する大会やコンテスト」に参加しているが、自分は参加していない場合 → 「不参加」を選択

○学年 **最も結果の良かった発表会区分のみ入力必須**

参加した学年を選択してください。

○参加者数（聴衆除く） **最も結果の良かった発表会区分のみ入力必須**

参加者数を入力してください。その際、聴衆の人数は除いてください。

○表彰・順位付け有無、表彰・順位付け“有”の場合の結果 **最も結果の良かった発表会区分のみ入力必須**

表彰・順位付けの有無を選択してください。表彰・順位付けがあった場合は、結果（最優秀賞・優秀賞等）を簡潔に入力してください。なお、受賞した賞に複数の受賞者やグループがある場合など、特記すべきことがあれば合わせて入力してください。加えて、入賞したことがわかる証拠資料(賞名、高校名・氏名等が記載された賞状等)を提出してください。

○規模 （外部機関が主催する大会やコンテストの項目のみ該当）

県内・地方・全国区・世界規模 から選択してください。

○予選有無、予選の備考（外部機関が主催する大会やコンテストの項目のみ該当）

予選の有無を選択してください。なお、予選についての備考があれば入力してください。

（例）外部機関が主催する大会等における書類審査等が該当します。校内予選は対象となりません。

5. 探究活動の目的 **入力必須項目**

『この探究活動の目的は、～である』の“～”の箇所を埋めるように入力してください。なお、何に関する探究を行ったのかを読み手が理解できるようにお書きください。

6. 探究活動のテーマおよびテーマ設定にいたった背景

○テーマ **入力必須項目**

○テーマ設定にいたった背景 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

600字以内で設定にいたった背景を入力してください。

7. 引用した文献（研究図書・一般書籍・論文誌（査読有）・論文誌（査読なし）・ウェブ上の公開データ・その他）

探究活動を行った中で重要となる主要な引用文献を最大5つ選択して下記の情報をそれぞれ入力してください。加えて、記載した引用文献の「**タイトル**」「**著者名**」「**媒体名**」がわかる資料（表紙のコピー等）を提出してください。引用した文献がない場合は空欄で印刷して提出してください。

○著者（3名以上いる場合は3名まで）

○発行年（媒体が発行された年）＊西暦

○タイトル

○媒体名（オンラインの場合はURL 記載）

※URL が枠内に収まらない場合は、URL 短縮ツール等(<https://develop.tools/url-shortener/>)で短縮の上、入力してください。

○本探究活動における引用文献の位置づけに関する解説（本探究活動において、引用した文献の知見が何故必要なのかを解説する）※引用文献が5つある場合は、5つ全て解説してください

【注意】以降の項目については、探究活動タイプによって異なるため、該当する箇所を確認してください！

探究活動タイプ“A”を選択した方

8. 収集した情報・データ（現地調査・協力機関（大学や企業）での調査など）

探究活動で収集した情報・データの中で重要かつ主要な3つを（最大3つ）入力してください。3つ全て入力する必要はありませんので、必要数分（最大3つ）だけ入力してください。収集した情報・データがない場合は空欄で印刷して提出してください。

○方法

実験・インタビュー・質問紙・観察・その他 から選択してください。「その他」を選択した場合は、具体的に入力してください。

○期間・場所・目的

実施した期間（西暦）・場所・目的を入力してください。

○方法の詳細

手順や、どのように行ったのか等を詳細に入力してください。また、『① 探究活動の成果物』での言及箇所（●枚目の●段落目 など）を入力してください。

9. 分析方法・結果 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

収集した情報・データについて、分析方法を 500字以内、分析結果を 800字以内で入力してください。

10. 考察結果 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

考察の結果について、800文字以内で入力してください。

11. 探究活動を通して「学んだこと」 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

探究活動を通して探究テーマそのものに関する学びがどのように深まったのかを 500文字以内で説明してください。

12. 探究活動を通じて得た経験を踏まえて、出願する学部（学科・課程・専修・コース）を志望する理由を **800文字以内**で述べてください **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

※経験とは、探究活動で取り組んだ分野や内容自体の「学び」だけでなく、探究活動を通じて得た汎用的スキルに関する「学び」や「プロセス」を踏まえて記載してもよい

13. 「12.」に記載した以外の内容で、大学入学後にどのような「学び」を実現したいのかを **800文字以内**で具体的に説明してください **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

―― 探究活動タイプ“B”を選択した方 ―――

8. 他者との交流や協働を通じた実践活動

探究活動で実施した他者との交流や協働の中で重要かつ主要な 4つを（最大4つ）入力してください。

4つ全て入力する必要はありませんので、必要数分（最大4つ）だけ入力してください。他者との交流や協働を通じた実践活動がない場合は空欄で印刷して提出してください。

○形態

国際交流・国内交流・その他 から選択してください。「その他」を選択した場合は、具体的に入力してください。

○実施方法

オンライン・対面・ハイブリッド（オンライン＋対面）から選択してください。

○期間・場所（対面実施時のみ入力）・目的

実施した期間（西暦）・場所（対面実施時のみ入力）・目的を入力してください。

○誰と・内容

誰と・どのような内容で実施したのかを入力してください。

○『① 探究活動の成果物』での言及箇所（●枚目の●段落目 など）

9. 分析・考察結果 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

分析・考察の結果について、2100文字以内で入力してください。

10. 探究活動を通して「学んだこと」 **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

探究活動を通して探究テーマそのものに関する学びがどのように深まったのかを 500文字以内で説明してください。

11. 探究活動を通じて得た経験を踏まえて、出願する学部（学科・課程・専修・コース）を志望する理由を **800文字以内**で述べてください **入力必須項目**※改行も1文字としてカウントします。

※経験とは、探究活動で取り組んだ分野や内容自体の「学び」だけでなく、探究活動を通じて得た汎用的スキルに関する「学び」や「プロセス」を踏まえて記載してもよい。

12. 「11.」に記載した以外の内容で、大学入学後にどのような「学び」を実現したいのかを **800文字以内**で具

体的に説明してください **入力必須項目**※改行も 1 文字としてカウントします。

探究活動タイプ“C”を選択した方

8. 分析・考察結果 **入力必須項目**※改行も 1 文字としてカウントします。

分析・考察の結果について、2100 字以内で入力してください。

9. 探究活動を通して「学んだこと」 **入力必須項目**※改行も 1 文字としてカウントします。

探究活動を通して探究テーマそのものに関する学びがどのように深まったのかを 500 文字以内で説明してください。

10. 探究活動を通じて得た経験を踏まえて、出願する学部（学科・課程・専修・コース）を志望する理由を 800 文字以内で述べてください **入力必須項目**※改行も 1 文字としてカウントします。

※経験とは、探究活動で取り組んだ分野や内容自体の「学び」だけでなく、探究活動を通じて得た汎用的スキルに関する「学び」や「プロセス」を踏まえて記載してもよい

11. 「10.」に記載した以外の内容で、大学入学後にどのような「学び」を実現したいのかを 800 文字以内で具体的に説明してください **入力必須項目**※改行も 1 文字としてカウントします。

探究活動タイプ例

探究活動タイプ“A” 事例

- ・ A 高校生の LGBT に対する意識の現状調査
- ・ A 高校の教員が抱える受験結果重視の指導と理想の教科指導の間にあるジレンマに関するインタビュー調査
- ・ A 県三日月川における家庭排水の大量流入事故が蜚の生息に与える影響の経年変化に関する分析
- ・ 自己のゲーム依存度を自覚するための対話型カードゲームの開発と評価
- ・ クイズを通して文化に対する共感を生むためのアプリケーションソフトの開発とその効果～アジア文化編～

探究活動タイプ“B” 事例

- ・ 海外との学校間交流を通して生まれたお互いの文化に対する誤解とその解消に関する考察
- ・ 三日月市外国人居住者とのインターナショナルスポーツデイの共同企画・開催を通じた私たちの学び
- ・ クレセント高校生と B 国 B 高校生の第二言語習得に対する興味関心の持ち方の違いに関する考察
- ・ B 国 B 高校生徒との長期ディスカッション交流を経て導かれた領土問題に関する解決案
- ・ 離島にある B 高校と ICT を活用した年間交流で取り組んだ「幸せの感じ方」に関する議論の結論

探究活動タイプ“C” 事例

- ・ 近代クレセント史における保守派の解釈に関する考察
- ・ 学校教育の授業で求められる教師の役割と進学塾の講師に求められる役割の違いに関する考察
- ・ Society5.0 における日本の国際貢献に関する考察
- ・ 日本企業における終身雇用制度と EU 諸国の関連制度の比較に関する考察
- ・ 日本における校則に関する議論の歴史的変遷に関する考察